

雨に浸る家



Scale 1:30

Facade



Relations



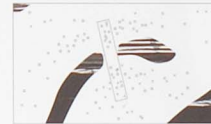
Diagram



Scene 01 - fine



Scene 02 - light rain



Scene 03 - rain



Scene 04 - rainstorm

Concept

その家は整穴住居に近く、起伏のある土地に屋根がかかるだけである。そのためここに暮らす人たちはあらゆる自然現象と共に生活をしなければならない。雨は床を浸食し、庭から季節の彩りを運び、共に暮らす人たちの生活は外部環境と共に一刻と姿を変えていく。雨の日の情景そのものと言える現象が起こるこの家では、自然の脅威さえも自らの心象風景と重ね合わせて生活することになるだろう。

金賞「雨に浸る家」 金沢美術工芸大学 佐藤真理子 山本 周